

# 耐震改修促進計画策定支援のための全道市町村地震防災マップ作成に関する研究

## 研究目的

北海道は建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に基づき耐震改修促進計画を策定(H18)しました。市町村についても、耐震改修促進計画を作成し、耐震診断・改修の実施に努めることとなっています。

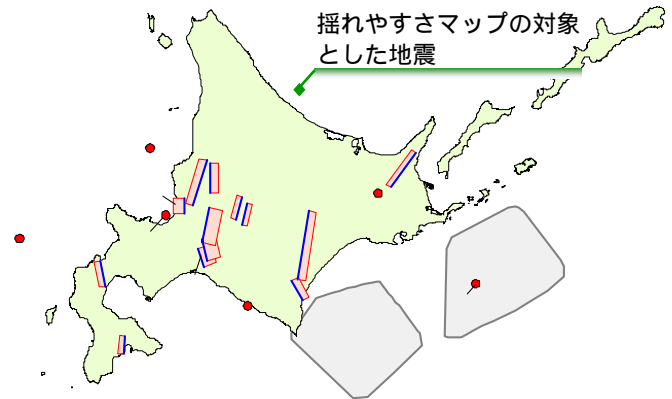
住宅・建築物の耐震化対策の促進には、地域に想定される地震の揺れの大きさや被害の可能性を防災マップとして作成し、住民の意識啓発を図ると共に、被害予測に基づいた対策を考えることが重要です。

この研究は、全道市町村を対象とした地震の想定や震度算定方法を検討し、市町村向け技術資料として揺れやすさマップを作成するとともに、揺れやすさに基づいた耐震化による被害軽減効果の算定手法を提案することを目的とします。

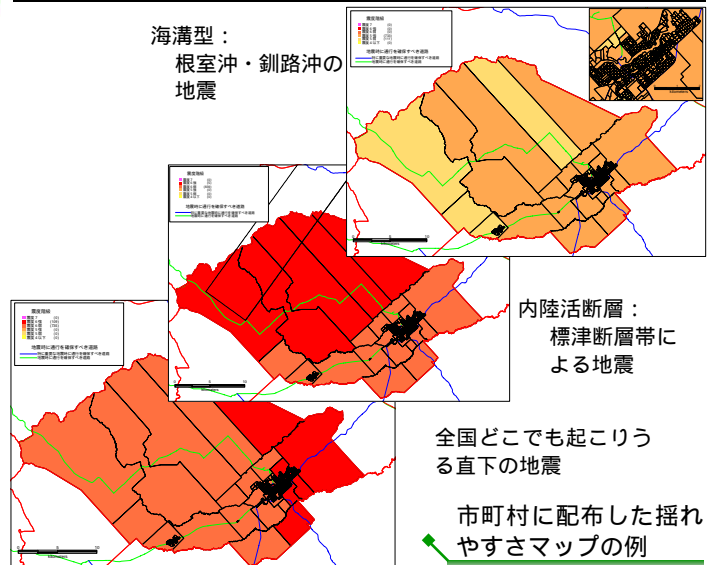
## 研究概要

道内の市町村別に地震の揺れやすさを算定することを目的に、今年度は既往調査で公表されている想定地震について地域別に整理しました。また、現在まで地震の発生が少なく、既往の想定地震がない地域を考慮して、全国どこでも起こりうる直下の地震による揺れやすさの算定を検討しました。

海溝型を主とする道及び中央防災会議の8震源、内陸活断層を主とする地震調査研究推進本部の12断層モデル、全国どこでも起こりうる直下の地震(M6.9)の合わせて21地震を対象とし、地理情報システム上で作成した地震動計算プログラムを用いて、全道市町村の地震動を500mメッシュ単位で計算し、町丁目界単位の揺れやすさマップを作成しました。



道・中央防災会議			地震調査研究推進本部の断層モデル		
1	石狩	9	標津断層帯	16	当別断層
2	北海道東部	10	十勝平野断層帯主部	17	石狩低地東縁断層帯主部
3	釧路北部	11	光地園断層	18	石狩低地東縁断層帯南部
4	日高中部	12	富良野断層帯西部	19	黒松内低地断層帯
5	留萌沖	13	富良野断層帯東部	20	函館平野西縁断層帯
6	後志沖	14	増毛山地東縁断層帯	21	全国どこでも起こりうる直下の地震(M6.9)
7	十勝沖・釧路沖	15	沼田・砂川付近の断層帯		
8	根室沖・釧路沖				



## 研究の成果

今年度は、対象とした21地震について全道500mメッシュ震度分布図を作成しました。また計算結果を基に市町村向けの技術資料として揺れやすさマップを作成し、道建築指導課を通じて平成20年度に耐震改修促進計画を策定予定の51市町村のうち、48(独自で作成などの3市町村を除く)に配布しました。配布したすべての市町村の計画に利用されています。

来年度については、揺れやすさマップを活用した耐震化による建物倒壊や道路閉塞など被害軽減の算定について検討する予定です。